

## 99歳以上の高齢者110人に慶祝状などを贈呈 沼田市の最高齢者は104歳 敬老会について検討が必要？参加者が年々減少

今年、99歳を迎える人（25人）と100歳を迎える人（25人）、数え101歳以上の人（60人）に慶祝状等を送る「高齢者慶祝事業」が2月18日、おこなわれる予定です。

毎年地区別に関われている敬老会の今年度の参加者は、3,954人（48.0%）ですが、昨年より38人の減、参加率では1.4%の減となりましたが、参加者数、参加率とも年々減少傾向となっています。

高齢者の方々が気軽に、楽しく参加できる敬老会にしていくための検討が、必要になっているのではないのでしょうか。

## 市民の安全確保のためにオスプレイの訓練飛行の中止を「飛んでこられたら困る」と市長が答弁

大東議員は一般質問で、2017年以降に横田基地に配備が予定されているCV-22オスプレイ（写真）の訓練飛行について、国などからの情報提供の状況と市長の見解について市長に質問しました。

国や県からの情報提供について市長は、「新聞報道があってから、県に照会したが、オスプレイの飛行ルート情報は、把握できていない」「住民が



不安を抱くような状況で飛行訓練をおこなうことはあってはならないと考えている」と答えました。

オスプレイが沼田上空に飛来することについて市長は、「飛んできてもらっては困る」と答えました。

## 新春の風物詩たるま市に福を求めておおぜいの人出

沼田市の新春の風物詩である「だるま市」が16日、本町通りを歩行者天国にしておこなわれました。

今年は、だるまや軽食の露店などが約40軒並び、威

勢のいいかけ声に誘われ、多くの人々が福を求め、縁起物のだるまを買っていきました。

午後2時から須賀神社では、だるま供養がおこなわれました。



## 市大会出場めざして 上毛かるた地区大会

24日におこなわれる「沼田市上毛かるた大会」の出場をめざし17日、沼田地区、利南地区、池田地区、薄根地区、白沢町（川田地区は12月、利根町は16日に開催）で地区大会が開かれました。

2月におこなわれる県大会の選手が、24日の市の大会で決まります。



2016年1月24日

NO. 468

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

**やまびこ**

発行所 沼田市下久屋町983 TEL 23-1519 部内資料



安倍首相にはそんな配慮は一切なく、改憲発言と改憲策動を繰り返して、歴代政権の憲法解釈を勝手に変え、集団的自衛権の行使容認に踏み出し戦争法を制定した。うえに、明文改憲の条件づくりに踏み出そうとしている安倍首相の策動を力を合わせて食い止めることが急務となっています。

「こんには。」参議院選挙でしっかりと訴え、国民的議論を深めていきたい」「自公だけでなく、改憲を考えている責任感の強い人たちと、3分の2を目指したい」—安倍首相の会見発言が相次いでいます。

憲法の尊重擁護を義務付けられた首相が先頭に立って改憲をおこなうということは、まさに安倍首相の異常な憲法破壊、独裁政治を浮き彫りにしたものです。

かつてはどんな改憲論者が首相になっても、憲法99条に明記されている憲法の尊重擁護義務を念頭に、政権を担当している間は改憲策動を控えるというのが常識でした。

こんにはは 大東のぶゆき です



## 続ぶらい散歩 めまた道 池田地区あれこれ 特別編その二十六

### 発知神社

中発知町の県道沿いにある「発知神社」は、永禄（1558年～1569年）のころ、土地の豪族だった木内八右衛門が、九州の宇佐八幡宮を分霊し、中発知の八幡沢に祀ったといわれています。



長年にわたって、中発知上組の氏神として篤く尊崇してきましたが、明治43年（1910）現在の場所へと移し、「発知神社」となり、中発知町の氏神とすることにしました。

### 永井本家

池田地区では大地主のなかに、江戸時代から越後や信州から酒造師を雇い、酒造をおこなっていたようです。



「利根錦」の銘柄で有名な永井本家は、明治39年（1893）に長野県上高井郡からきた永井氏が酒造業をはじめたと、「池田村史」に記されています。